

十月十三日
 石第三五九六部隊 兵科見習士官 川邊康一
 石第四二八四部隊 同 松本匡雄
 同 同 河野博一
 一、左ノ通り發令セラル

叙正八位

陸軍之醫大尉 伊藤新十郎
 陸軍中尉 竹添角二
 同 大田俊郎

叙從七位

十月十五日
 一、昭和十九年度初年兵一三六名入隊ス
 旅團長閣下初年兵入營狀況視察ノ為來隊セラル
 一、十六時ヨリ入隊式ヲ舉行ス
 十月二十日 一、左ノ通り發令セラル

陸軍中尉 塩見高美

十月二十五日
 一、部隊ハ幹部教育ヲ兼テ水際戰鬥及斬込攻撃演習ヲ實施ス
 師團長、旅團長前項演習實施ノ為來隊ス

一等級下賜

陸軍中尉 山添欣作
 同 川崎忠雄
 同 織田治雄
 同 飯田桃介
 同 松山良雄
 同 清水良雄

昭和十九年十一月

十一月一日 一、大隊「ハ」號演習ノ目的ヲ以テ経塚附近ニ前進
津 霸 師團長供覽ノ下ニ師團統裁ノ演習ヲ實施ス

十一月三日 一、大隊ハ津霸國民學校ニ於テ明治節ノ佳節ヲ迎
ヒロハロヨリ遙拜式ヲ舉行ス

一、ロヨリ當間地区、津霸地区毎ニ軍官民合同ノ
練成會ヲ開催シ盛況裡ニ終了ス

十一月四日 一、左ノ通り發令セララル

陸軍准尉 弓 榎 巽

任陸軍少尉

十一月十四日 一、昭和十九年度喇以修業兵縫工修業兵裝工修
業兵教育ヲ開始ス

十一月二十日 一、昭和十九年第一年度下士官候補ノ查閱ヲ當間、
國民學校附近ニ於テ實施ス

十一月二十五日 一、部隊長ハ團隊長會同出席、為旅團司令部ニ
出張ス

十一月二十九日 一、有線通信修業兵ノ檢閲ヲ實施ス

獨立歩兵第十二大隊將校職員表 昭一九、一、二、一調

考備	3	乙	ノ	部	本	長
一 過兵科尉官 三名	同 同 附 長 (步)見士長田進甲	同 同 附 長 (步)見士小池鞆彦甲	同 同 附 長 (步)同 倉田彰夫甲	同 同 同 同 (院)醫少尉岩田貞良短現	同 同 同 同 同 同 同 同 (步)同 伊藤新十郎 (步)同 宇井重一 (步)同 清水良雄 (步)同 高橋種次郎	長 副官 中尉飯田文吾 織田治雄 太田俊郎 高橋種次郎 清水良雄 宇井重一 伊藤新十郎 岩田貞良短現
	砲 同 同 附 長 (步)見士森幸夫甲	機 同 同 同 同 (步)同 岸田照雄甲	機 同 同 同 同 (步)同 青山順	ノ 同 同 同 同 (步)同 筒井昇甲	ノ 同 同 同 同 (步)同 尾城久吉	長 中尉吉村馨 竹添角二 弓術 巽少 中谷梅雄 内山正徳 八木一夫 松尾榮造 和手甚悦 尾城久吉 筒井昇 塩見高美 石橋康作 青山順 塩見篤 上林十志男 岸田照雄 内山幸雄 松山良雄 吉田勲 森幸夫

昭和十九年十二月

十二月一日
津霸國民學校

一、大隊ハ依然主ヲ以テ津霸國民學校ニ位置シ築城作業ヲ續行スルト共ニ新防衛態勢ヘノ準備ヲナス

二、部隊長ハ新防衛態勢ヘノ轉移準備ノ爲普天間附近ニ出張陣地偵察ヲ實施ス

三、陸軍曹長 関口品三

任陸軍准尉、第五中隊附ヲ命ズ

四、第四中隊 陸軍准尉 仲井勝太郎

第一中隊 同 田口省三

大隊本部附ヲ免シ頭書ノ中隊附ヲ命ズ

十二月二日 一、自ニ本部情報室ニ於テ中隊長會同ヲ實施ス(新任務ニ基ク陣地配備ニ就テ)

十二月三日 一、自ニ當間部隊(第一、第三、第四、MG中隊)初年兵教育査閲ヲ實施ス

十二月六日

師團長、旅團長前項教育ヲ視察、爲來隊セラル
第五中隊ハ陣地ヲ第十一大隊ニ引継ヲ完了スルト共ニ
旅團直轄中隊トナリ十二時津霸出發伊祖ニ位置ス
陸軍中尉 太田俊郎
大隊附ニ

陸軍中尉 飯田文吾

大隊副官ニ十一月十一日發令セララル

十二月七日
宜野灣村
普天間

本部、歩兵砲中隊主力ハ配備変更ニ依リ普天間ニ移
動ヲ完了ス

十二月八日

第三中隊、機關銃中隊主力ハ當間ニ位置シ作業
續行中ノ處第三中隊ハ大城ニ機關銃中隊主力
ハ普天間ニ夫々移動完了ス

十二月十日

津霸國民學校ニ於テ集合教育ヲ實施中ノ第二
第五歩兵砲中隊主力ハ當間國民學校ニ移動シ教

育ヲ續行ス

十二月十一日

第一、四、六、八中隊長、地方各区長ト會同ヲ實施シ築城
ニ関スル連絡並ニ協定ヲ實施ス

十二月十四日

故福山伍長以下九柱ノ慰靈祭ヲ施行ス

十二月十八日

歩兵中隊主力ハ藁小屋ノ完成ト共ニ野嵩ニ移動工
事ヲ續行ス

各隊共概テ陣地附近ニ藁小屋ヲ完成シ配備変更ニ依
ル築城工事ヲ續行ス

十二月二十六日

自一〇〇〇喇以修業兵教育檢閲ヲ實施ス

部隊長ハ團隊長會同出席ノ爲我如古ニ出張ス

十二月二十七日

中隊野嵩ニ移動ス

十二月二十八日
十二月二十九日

初年兵第一期檢閲ヲ實施ス

昭和二十年一月

一月一日、昭和二十年元旦ヲ沖繩縣宜野灣村普天間ニ於テ迎

ヒ大東亞決戦下ノ重大使命ヲ有スル大隊ハ決意ヲ新ニ一意任務ニ向ヒ邁進ス

一、九時ヨリ遙拜式ヲ舉行シ九時三十分ヨリ普天間神社ニ參拜ス

一月三日、部隊長ハ要務連絡ノ爲仲間師團司令部ニ出張ス

一、九時三十分敵機來襲ニ依リ空襲警報發令セラレ大隊ハ直ケニ乙號戰備ヲ下令シ戰鬪配備ニ就キタ

ルモ異常ヲ認メサルヲ以テ一二五丙號戰備ニ移行ス

一、本部事務室准下士官室兵室ヲ普天間教育會館ニ移轉ス

一月十日、部隊長指導ニ依ル將校團ノ劍術教育ヲ開始ス、

(一月十日ヨリ一月十四日迄)

一月十六日、軍兵器部長並ニ師團兵器部長、大隊ノ兵器彈藥

集積狀況ヲ巡視セラル

一、本日ヨリ准士官下士官優秀者ノ劍術、手榴彈ノ教育ヲ實施ス(一月十六日ヨリ一月二十五日迄)

一月十七日、部隊長ハ第一、第二、機關銃、步兵砲、^{在如}第四中隊一部

陣地査閲ヲ實施ス

一月十八日、前日ニ引續キ第四中隊、本部機關銃、步兵砲、第三中隊ノ陣地視察實施ス

兵科見習士官 森 幸夫

同 安田 堯

同 和手 甚悦

同 岸田 照雄

同 中谷 梅雄

同 内山 正徳

兵科見習士官

小池 鞆彦

同

長田 進

同

倉田 彰夫

同

筒井 昇

任陸軍少尉

(一月十一日附)

一月十九日 一十二時三十分ヨリ中隊長會同ヲ實施ス

一月二十七日 一九時ヨリ武技競技會(銃劍術)ヲ實施ス

將校團優勝者 弓術少尉

准士官優勝者 井上 准尉

中 隊優勝者 第四中隊

一部隊長ハ團隊長會同出席ノ爲首里師隊司

令部ニ出張ス

一月二十八日 一十二時ヨリ中隊長會同ヲ實施シ配備変更ニ関スル

打合せヲ實施ス

一月二十九日 一部隊長並ニ本部附將校全員新防衛地区陣地

偵察ヲ實施ス

一月三十一日 一第二中隊ハ石九三作命第十號ニ基キ讀谷山地区

警備隊トナリ石峯、久保附近ニ前進シ新任務ニ

付ケリ

昭和二十年二月

二月一日
普天間

一、大隊八石九三作命第十號ニ基ク新防衛地区ヘノ移動
準備ヲナス

一、機關銃中隊(山内)歩兵砲中隊(越來)ニ夫々石九三
作命第十號ニ基ク擔任地区ニ移動ス

二月三日
越來
國民學校

一、大隊本部八石九三作命第十號ニ基キ八時三十分以
降數梯團ニ分レ越來國民學校ニ轉移ス

二月五日

一、九時師團長參謀長防衛地区實視、爲來隊セ
ラル

二月八日
喜舍場
國民學校

一、十三時ヨリ各地区隊長會議ヲ實施ス
一、本部ハ賀支作命第一八號ニ基キ九時ヨリ喜舍場
國民學校ニ轉移ス

二月十日

一、十四時ヨリ軍官民聯合防衛會同ヲ實施ス
防衛地区内各村長区長、在郷軍人等約一〇〇名

参集ス

陸軍准尉

古田夏一

任陸軍少尉

(二月一日附)

陸軍少尉

古田夏一

補石第三五九三部隊附

第一中隊附ヲ命ズ

二月十二日

一、部隊長ハ具志川地区、讀谷山地区陣地並ニ防衛會同立會ノ爲第五、第二中隊ニ出張ス

二月十五日

一、第一中隊陸軍二等兵、久保田勇以下七名衛生修業教育中ノ處歸隊ス

二月十六日

一、部隊長ハ嘉手納特設警備隊、第二百二十四中隊ノ警備召集狀況ヲ視察ス

一、高木中尉ハ石第五三三五部隊ヨリ當隊ニ配属セラレタルヲ以テ第五中隊ニ、岩田少尉ハ第二中

隊ニ夫々勤務セシム

兵科見習士官

加藤行雄

歩兵砲中隊附

兵科見習士官

山梶英造

第二中隊附

兵科見習士官

石田政治

第三中隊附

北支、保定幹部候補生隊ニ分遣中ノ處卒業歸

隊セルヲ以テ夫々中隊附ヲ命ズ

兵科見習士官

山梶英造

獨立歩兵第十一大隊ニ

兵科見習士官

石田政治

獨立歩兵第十三大隊ニ

夫々轉属ス

二月十七日

二月十八日

一、 敘正七位

陸軍大尉 長峯正榮

陸軍中尉 青山順

飯田文吾

高橋種次郎

同 吉田勲

同 北原秀雄

一、 敘從七位

(以上昭和十九年十一月一日附)

二月二十日

一、 部隊長ハ山内地区、佐久川海軍第十一砲台ヲ

二月二十日

一、 部隊長ハ具志川、伊波、警備隊ヲ視察ス

一、 昭和十九年度特業鍛工手、鞍工手ノ教育終了

セルヲ以テ各々原所属ニ復歸セシム

二月二十日

陸軍大尉 内山幸雄

二、 二等給下賜

陸軍中尉 石橋康作

一、 一等給下賜